



- ★ 独立を志す方
- ★ リピート率を高めたい方
- ★ 企業内診断士とプロコンの二足のわらじを履きたい方

稼げる! プロコン育成塾

16期 第2回講義レポート

稼げる! プロコン育成塾 16期 第2回講義が、下記の通り行われましたので、ご報告いたします。

■ 実施要領

開催日時	2016年7月30日(土) 9:50~17:20	
開催場所	東京都中小企業診断士協会 中央支部事務所(東京都中央区日本橋堀留町)	
開催内容	特別講話	初代塾長 宮本邦夫
	プレゼンテーション	16期生
	小論文の書き方	講師:塾長 鴨志田 栄子
	小論文の書き方(演習)	講師:大草 昭人
	特別講話 「成功するためのセルフ・ブランディング」	特別講師: エキスパート・リンク株式会社 代表取締役 藤田 隆久

■ 第2回講義レポート

(1) 特別講話

講話:宮本邦夫 初代塾長(9:50~10:20)

第2回講義に先立ち、「稼げる! プロコン育成塾」初代塾長の宮本邦夫先生がサプライズで参加され、「特別講話」として漢詩を事例に起承転結など、論理構成についてお話くださいました。



(2) プレゼンテーション

プレゼンター:塾生2名 (10:20~10:40)

「話す」ことのトレーニングの一環として、毎回数名に5分間のスピーチをしてもらい、講師・受講生からフィードバックを行うプログラムを開始しました。16期から始めた新しい試みです。

今回は、2名の塾生が発表しました。それぞれに課題は有するものの、2名ともスピーチ内容や時間配分など、しっかり準備して臨んでいることが伝わってくるプレゼンテーションでした。

(3)小論文の書き方

講師:塾長 鴨志田栄子 (10:40~12:25)

中小企業診断士として必要な「書く」能力を習得するため「ビジネス小論文」の書き方の講義を実施しました。

「ビジネス小論文」は、ビジネスに有益であり、論理的で正確で、かつわかりやすく、訴求力があるものでなければなりません。これらのことは、よく言われることですが、具体的に何をどうすればよいかを学ぶ場は多くありません。そうした要件を満たす「ビジネス小論文」を執筆するための手順、留意点についての講義がありました。特に、論理展開や文章作法については、一つひとつの例を通じて理解深めていきました。

これらの文章の書き方は、将来、公的機関に提出する企画書や報告書の作成、雑誌記事の執筆や本を出版する際には必ず有していなければならない素養です。これを診断士としてのスタートアップ時に習得しているといえないとでは、将来大きな差がつきます。受講生からも、小論文を含む文書作成の奥深さに対する感想が多く聞かれました。



(4)小論文の書き方(演習)

講師:大草 昭人 講師 (13:15~15:10)

本講義では、午前中の講義で学んだ、「ビジネス小論文」の書き方のうち、誰でもがよく陥る文書作成上の過ちを、具体的な文書の修正のワークを通じ、学習しました。ワークの内容は、例文をよりわかりやすくするためには、どのように改善をしたらよいかというものです。まず、各自で考え、その後、グループ討議をして発表するという流れで行いました。具体的には、①主語と述語のねじれ、②目的語の使い方、③修飾節の長さ、④修飾語と被修飾語の位置関係、⑤冗長な表現等です。まとめの講義では、誤りやすい語句の「ゆらぎ」についても学習をしました。

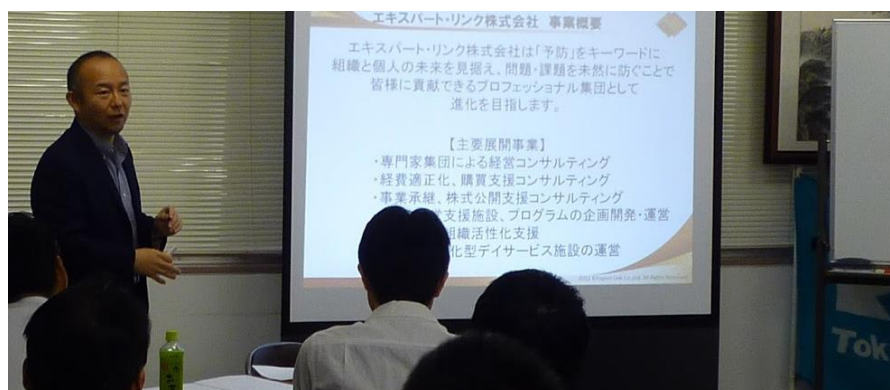


(5)特別講義「コンサルタントとして成功するためのセルフ・ブランディング」

特別講師:藤田隆久 先生 (15:20~17:20)

藤田隆久先生は、地方銀行や事業会社の顧問、経費適正化の指導、事業承継・株式公開支援、研修等 多岐にわたる領域でご活躍されています。講義では、ご自身のコンサルタントとしてのご経験をベースにセルフ・ブランディングについて、またコンサルタントに求められる能力についてお話しくださいました。

特に中心テーマのセルフ・ブランディングについては、「この仕事だったら、●●さん」と、他者に認識される領域を確立することが要であり、そのためには「ポリシー」を持って得



意分野を組み合わせ、それがオンリーワンを訴求できる内容にすることがポイントだそうです。

また、自分がどんな領域で専門特化するか固まっていない人は、自分のなりたい姿を描き、自己暗示をかけることが有効な方法とのアドバイスも頂きました。

「市場価値の高いコンサルは、どこで(地域や機能、業界)でNO.1になるのか、必ず自分の領域をもっている。自分の抜きでた領域をつくること、そして自ら行動し成長の機会を掴むことがコンサルタントとしての成功につながる。」との示唆にとんだ講義でした。

■ 事務連絡

次回、第3回目の講義は、8月27日(土)の開催です。内容は、以下の通りです。

- ①「書く」スキルをより深く学ぶための小論文の骨格(論理構成)について(講師:塾長 鴨志田栄子)
- ②「出版ノウハウと出版企画の立案法」について(講師:亀田憲)
- ③「独立へのロールモデル」について(講師:金子敦彦(11期生)、清瀬和彦(11期生))

(事務局:小林 隆)